

女性デジタル人材育成・就労支援事業【山梨県中央市】

個別事業費	4,735 千円
交付金額	3,375 千円

地域の実情と課題

令和5年度の中央市民に対する意識調査の結果、子育て世代が安心して子どもを産み育てるためにすべきこととして「育児休業などの制度が充実し、子育てと仕事の両立が可能で、仕事が続けられる職場環境づくり」が最も多く、次いで「出産や育児などにより、いったん退職した女性の再就職の支援」と続いている。

目的・目標

育児、介護等でフルタイムの仕事ができない女性や離職中の女性を主な対象とし、広く中央市内在住女性に対して、就労に直結するデジタルスキルを身に付けるための人材育成を行う。また、育成した人材が実際に活躍できるよう就労支援を行う。
目標として就業・起業者数をR7年度までに3名とし、R5年では2名、R6年では1名就労した。また、R6年度中に15名のデジタル人材育成を目標としたが、17名育成することができた。

事業の特徴

事業が始まる前にどのような内容か事前に知りたい方に向け、「プログラム紹介講座」を実施した。
また、自宅でリラックスした状態で受講ができるように、初回以外をオンライン形式で行った。対面形式で講座を行う際も託児を実施し、参加者が集中して学習ができるように環境を整えた。
就労支援として、起業・創業に向けた情報交換の場や人脈づくりを目的にフリーランス・個人事業主の交流会や講演などを実施した。また、就労や個人事業主としての起業の機会を提供するため、求職者と企業やハローワークによるマッチングイベントを実施した。

連携団体

- ・(株)キャリア・맘
- ・中央市商工会
- ・中央市産業課
- ・中央市健康増進課
- ・ハローワーク甲府
- ・民間企業

事業の効果

育児中や休職中の女性、これから転職・起業・副業などを考えていた女性にとって、自身の働き方についてデジタルを活用した新たな職種やスタイルを発見する機会となった。
また、企業とハローワークを交えたマッチング交流会を実施したことで実際に就労へ結びついた参加者がいた。
さらに参加者へ対してメンターによる個別カウンセリング等を行い、個々の状況を把握し支援を実施したことで就労への意欲を後押し、就職活動を始める参加者もいた。

今後の課題

デジタルスキルセミナー受講者のスキルレベルにばらつきがあったため、講座全体の理解度を揃えることが課題。
基本的なソフトウェアが利用できることを参加条件としたり、プログラムの具体的なレベルを明記するなどして、理解度が一定となるような対応を行うことを検討していく。
また、デジタル分野での働き方は多岐にわたるので企業や事業の参加者からのニーズを把握し、改めて精査・定義づけを行う必要がある。

事業の概要

女性デジタル人材育成・就労支援事業

●デジキャリプログラム

自身のキャリアを改めて考えるきっかけとなるように、キャリアプランセミナーを実施した。また幅広い職種で必要となるデジタルスキルを学べるセミナー(全6回)を行った。

●異業種交流会・マッチング交流会

・異業種交流会

講演を行ったり、起業・創業に向けた情報交換の場や人脈づくりを目的にフリーランス・個人事業主の交流会をオンライン形式と対面形式で実施した。

・マッチング交流会

就労や個人事業主としての起業の機会を提供するため、求職者と企業やハローワークによるマッチングイベントを実施した。



参加者がリラックスした状態でプログラムに参加できるように、初回以外はオンライン形式で実施した。



▲デジキャラプログラム(初回)の様子



▲異業種交流会(対面形式)の様子

山梨専門のインフルエンサー「Momoka」さんを講師として招き、先輩起業家として講演を行った。



▲デジキャラプログラム(初回)の様子